

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	熊野町立熊野東中学校	校長	大田 稔	担当者名	松田 憲二郎
-----	------------	----	------	------	--------

取組事例名 『生徒指導の三機能を活かした生徒会活動の在り方』

生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドを もった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通した絆づくり
----------------	----------------------------------	---	----------------

取組における育てたい資質・能力

- ・学校教育目標「“志”をもつ」
～当たり前なことを当たり前でできる生徒の育成～
- ・熊野東中三訓「時を守る 場を清める 礼をつくす」

取組のねらい

- ・生徒会を中心とした行事の実施を通して，生徒自身の学校を自らの手でよくしようとする態度を培うとともに，自身の行動に責任をもつことができるようになる。
- ・生徒会の代替わりの際，執行部の生徒の思いを形にし，生徒全員においてそれぞれの思いを表現させる。このことを通して，自分の思いを共有するとともに他の人の思いに応える行動を考えられるようになる。

取組の具体的内容

- ・7月：生徒総会に向けた取組
生徒総会の取組
生徒総会後の取組
各生徒会委員会の立案・実施・振り返り
- ・1月：生徒会選挙
新執行部発足・リーダー研修
生徒会ガイダンス
- ・4月：生徒会オリエンテーション（予定）

取組の創意工夫

- ・生徒自身が現状を把握し，よりよい学校生活を送るためにできることを考えさせる。
- ・議論した結果集約された意見は校長先生の助言のもと実現するよう努めた。（昼休憩の時間のグラウンドの活用，脳トレルームの設置，昼食時間に音楽を流す）
- ・立候補者の思いを表現させる場を設ける。また，リーダー研修で思いを形にし，新学期に発表させる。
- ・中学校生活のめざす姿を新入生に示す。それに応えようとする生徒を育てる。（予定）

取組の成果と課題

「行事や体験活動に満足している」に肯定的に回答した生徒の割合が80.1%である。また、「物事を最後までやりとげて嬉しかったことがある」に肯定的に回答した生徒の割合が90.9%である。行事の実施に向けた取組を通して達成感を感じることができたと考える。今年度の取組はまだ途上であり，次年度以降に継続したい。